

パブリックコメント

(意見募集) を実施

① 「茂原市土砂等の埋立て等による土壌の汚染及び災害の発生防止に関する条例(案)」および「同条例施行規則(案)」

② 「茂原市再生土の埋立て等規制条例(案)」および「同条例施行規則(案)」

再生土を利用した土地の埋立て等の一部で、周辺の植生への悪影響や不適正な施工方法による崩落が発生したことを受け、千葉県では、平成31年4月に「千葉県再生土の埋立て等の適正化に関する条例」を施行し、再生土の埋立て等について届出制による規制を開始しています。

本市では、県条例施行後、再生土の埋立て等は行われていませんが、再生土の埋立て等による被害が発生しないよう、本市が独自で規制を開始するため、同条例および施行規則の制定準備を進めています。

◆意見等の募集期間

10月1日(水)～30日(金)

◆閲覧場所

環境保全課、同課ウェブページ、市役所1階情報公開コーナー、本納支所

◆提出方法

書面の持参、郵送、FAX、メール
※持参の場合は、8月30日(土)17時15分(土日・休日を除く)

問合せ・提出先

環境保全課(6階)

☒ hozen@city.mohara.chiba.jp

〒2997-8511

茂原市道表1

☎(20)1504、FAX(20)1604

市長が行く



茂原市長 田中 豊彦

台風とコロナとインフルエンザ

昨年の今ごろは大きな台風が次々と発生し、千葉県にいたるところで多くの被害が出てしまいました。南房総市や館山市、鋸南町などでは、いまだに家屋等の修繕が終わっていない人も多くいらつしやると聞いております。

の被害がまた日本の各地で発生しています。地震も頻繁に起こっています。またいつ大きな災害に見舞われるか、いつも不安に思います。

それだけでなく、コロナの問題もあります。ここへきて、茂原市においても感染者が少しずつ増加しています。最近の感染者の中には、別の病気で入院して手術をする前の検査で陽性反応が出た人が何人かいて、その人たちは無症状だったということでした。今の最大の問題は、感染経路が特定できないこと、症状のない感染者が増えてきていることと感じております。

これから寒くなるにつれ、インフルエンザの流行も始まりますが、寒くなる前にインフルエンザワクチンの接種をできるだけ多くの市民に早めに接種していただくように、医師会や健康福祉センターと打ち合わせをしています。コロナ禍の中で、インフルエンザと

コロナとの見分けがつかず、医療機関としての対応が難しい判断を強いられることも考えられるためです。また、台風が来る前にワクチン接種を多くの市民の方がしていれば、少しでも安心して避難所に向かうことができると考えられるからです。コロナのワクチンが安心して受けられるようになるまでは、今できる範囲でリスクヘッジをしていくしかありません。

今社会全体が閉塞感に覆われ、私たちは先の見えない不安の中で生活しています。自然災害や見えない敵ウイルスなどに対し、人間がどこまで立ち向かっていけるかは分かりませんが、こんな時だからこそ、思いやりの心を持ち、助け合いの精神を持って生活していくことが大切になってくるのではないかと改めて思っております。

防かさ上げについては、県の方針では最大で50cmぐらいしか見ておらず、4回にわたる打ち合わせで、市の申し入れとして少なくとも1mほどのかさ上げをお願いしてきているのですが、なかなか受け入れてもらえず、県との温度差が生じている現状です。

今年に入り、大雨や台風